

### 経営者への活きた言葉

#### 新しいイノベーションは何か リチャード・フロリダ(トロント大学教授)

1. 東京には国際的にみて短所もありますが、それでも最も強力なグローバル経済の拠点の一つであり続けると信じています。首都圏は集中したかたちで、アウトプット及びイノベーションの点で世界経済をリードするでしょう。これからもクリエイティブでイノベティブな人たちにとって、魅力的な地域であり続けると思います。
2. かつて、イノベーションの中心はアメリカでした。少なくともアメリカ人はそう考えていた。しかし、いまではイノベーションはもっと分散されています。アメリカの特許の半分はアメリカ以外で生まれた外国人か、外国に住んでいる発明者のものです。大きな問題は、そのインフラを提供する、新しいイノベーションのシステムが何であるか、ということです。バイオか、次世代の情報テクノロジーか、それともソーシャル・メディアか。私の勤では、それは単なるエネルギー効率やグリーン・エネルギーではなく、新しい生活様式のインフラではないか、と思うのです。
3. しかし目の前で起こっているのはもっと大きなブレーク(変わり目)です。フォーディズム(大量生産、大量消費を可能にした生産システムのモデル)が限界に達するにつれ、もっと知識経済に同調するような経済を組織化する、新しい方法を見つけねばならない。

(参考:「Voice」2011年5月号)

### 経営者のための理念・哲学

#### 和の精神と公を思う精神 竹田恒泰(慶應大学講師)

1. いま、中国で話題になって日本人の写真があるそうです。それは、地震当時、帰れなくなったサラリーマンが駅の階段で、人が通れるように真ん中を空けて、電車の再開を坐って待っている姿です。日本では当たり前ですが、他国ではみんなお構いなしに坐るでしょう。「これは教育の賜物である。GDPで得られるものではない」と中国語で書かれ、わずか数日でネット上で7万回も閲覧されています。
2. 日本のことを一番悪く言っている中国ですら、日本人の精神の美しさに共鳴しています。私たちは、もちろん日本のために復興するのですが、日本がこの和の精神と、公を思う精神をもって見事に復興を遂げた時、私は世界が変わるような気がします。

(参考:「致知」: 2011年6月号)